

第2回郡山市制施行100周年記念事業プロモーション委員会開催結果概要

2022（令和4）年11月29日（火）に開催された、第2回郡山市制施行100周年記念事業プロモーション委員会の開催結果についてお知らせします。

○議事

次の項目について事務局から説明し、委員の皆様からは様々な意見をいただきました。

- (1)実施方針等について
- (2)ロゴマークの募集について
- (3)キャッチフレーズについて
- (4)記念事業について
- (5)100周年に係る各種意見募集について
- (6)その他

【主な意見とその後の対応】

「キャッチフレーズについて」

- ・もう少し、郡山感を表す言葉を盛り込めないかなと思う
- ・音楽に偏りすぎているのかなと感じる。郡山は音楽だけでなくスポーツも盛んだし、そういった方面から見た言葉が入ってもいいのでは
- ・郡山市の総合力を感じさせるメッセージがよいのではないかなと思う
- ・「こおりやま」という言葉は入ったほうが良いか？入ったほうがよい 11人
- ・「郡山」を入れるとなれば、漢字でなくひらがな表記のほうが温かくて良い
- ・過去に目を向けたときに開拓者精神というのが郡山のアイデンティティの強い部分。その開拓者精神の上に、音楽都市や東日本のクロスポイントや地の結節点というものが乗ってくる。「開拓者精神」というものが過去を振り返るとそこに原点があると感じた。そうしたものを想起できるようなもの、「ひらく」「ひらけ」なのか、そういった表現は前向きなんじゃないかなと思う

「記念事業について」

- ・100周年の記念事業は一過性ではなく持続可能なものという視点で考え、新たな事業や商品ができるようなものを優先的に考えてほしい
- ・郡山市の「フロンティア」や「楽都郡山」といった既存の資源大切にしたい。既存のものと何かをコラボしていくというコンセプトを示すことができれば、市民の皆様が参加できるのではないかな
- ・事業を実施するに当たって、いくらかかってもやるということか

➡事業実施のための予算については、基本的には皆様からの税金が原資となるので説明がつくものを基準に実施することが必要と考えています。物理的にできないものもあるので皆様にご意見をいただきながら判断してやっていくこととしました。

「100周年に係る各種意見募集について」

- ・何をしたいのかということではなく、今回の100周年をどうしたいのかとか、これを踏まえてこんな郡山にしてほしいのでこんな提案をしますといったものにしていただきたい